|  |  |
| --- | --- |
| 解答例 | 解説 |
| １ | 知識アイコン技能アイコン知識アイコン知識アイコン | ⑴　新田⑵　ア⑶　エ⑷　いわし | １ | ⑴　の，用水の整備などをおこない，新田の開発を進めた結果，18世紀初めの耕地面積は，豊臣秀吉の時代に比べて約２倍となっている。⑵　イは風力でもみがらを取り除く，ウは用に深く耕せるぐわである。いずれも江戸時代に発明され，農作業の効率が的に高まった。⑶　あいは染料としてに利用され，江戸時代は（徳島県）を中心にされた。べにばな（紅花）は染料となるほか，江戸時代には口紅としても利用された。江戸時代は（山形県）を中心に栽培された。⑷　江戸時代，九十九里浜ではによりいわし漁がおこなわれるようになり，とれたいわしはという肥料に加工された。 |
| ２ | 技能アイコン技能アイコン技能アイコン | ⑴　江戸⑵　西り航路⑶　大阪 | ２ | ⑴　五街道とは幕府が整備した最も重要な街道で，東海道，中山道，甲州道中，道中，日光道中をさし，江戸の日本橋が起点となっている。⑵　西廻り航路は，山形県の酒田，新潟などに集められた物資を，日本海沿岸を西に進み，瀬戸内海を通って大阪まで運んだ。17世紀後半に江戸の商人河村瑞賢によって整備された。⑶　・廻船は，江戸と大阪を定期的に往復した船で，菱垣廻船は17世紀前期，樽廻船は18世紀半ばに始められた。 |
| ３ | 知識アイコン知識アイコン知識アイコン技能アイコン知識アイコン | ⑴　ａ　井原西鶴　　ｂ　近松門左衛門　　ｃ　松尾芭蕉⑵　人形⑶　 | ３ | ⑴　ａ　井原西鶴は大阪の町人で，とよばれる小説の作者。｢好色一代男｣｢日本永代蔵｣などを著した。ｂ　近松門左衛門は浄瑠璃の台本の作者で，｢｣｢｣などをした。ｃ　松尾芭蕉は連歌の発句から独立したを芸術として大成した。俳諧紀行文の｢の細道｣を著した。⑵　人形浄瑠璃は，三味線をとする語り物に合わせて人形を操る芸能で，現在の文楽につながっている。⑶　蔵屋敷は江戸・長崎・大津などにも置かれたが，最も多かったのは大阪の中之島であった。 |